

第2回厚木市交通安全推進計画策定部会 議事録

- 1 日 時 令和8年8月26日（水）午前10時30分から11時まで
- 2 場 所 厚木市役所第二庁舎16階会議室AB
- 3 出席者 厚木市交通安全推進計画策定部会員10人（4人欠席）
市民交流部長、くらし交通安全課長、交通安全係長、同係員
- 4 傍聴者 0人
- 5 案 件 第2次厚木市交通推進安全計画素案について 資料
- 6 会議内容 第2次厚木市交通推進安全計画素案について

【事務局】

資料に基づき説明

【部会長（議長）】

ただいま説明が終わりましたので、御意見、御質問などがある方は、お願いいたします。何かございませんでしょうか。

【部会員】

はい。交通安全計画というのは非常に難しいものだと思います。継続して実施していかなければ、ハード面、ソフト面の両輪がうまく機能しません。非常に大事な取り組みの一つであると考えております。

その中で、今年の10月頃から、子どもたちの交通安全教室の中に、自転車の正しい乗り方の実技指導のようなものを、警察、市、指導員が協働で進めようとしていると伺っています。これが動いていくと、子どもたちの自転車の乗り方、例えば一時停止のルールなどが徹底されるのではないかと思います。

先ほどの交通安全対策協議会の会議でも一時停止の指導の重要性が話に上がっていましたが、実際に道路を走っていると、一時停止の線が1メートルから1.5メートル手前に引かれていることが多いです。そこで一時停止したからといって、そのまま確認せずに前に出してしまうと、左右から来た車と衝突してしまうというケースが生まれます。ですので、やはり「一時停止した上で、しっかり左右を確認する」という指導が子

どもたちには重要です。「一時停止したからもう大丈夫、飛び出してもいい」となってしまわないように、市内の小学校の交通安全教室のプログラムの中に、ぜひ組み込んでいってほしいと思います。

こうした具体的な指導が、今後の計画やアウトプット、そして成果として繋がっていくのではないかと思います。特に高齢者や子どもたちの事故件数を減少させ、より良い厚木市にしていくためには、こうした地道な努力が欠かせないと思っておりますので、この交通安全推進計画には大賛成ですし、ぜひ進めていただきたいという感想です。

【事務局】

御意見ありがとうございます。

この計画の取り組みには「小学生に対する交通安全教育」という項目がありまして、その中に「安全な自転車の乗り方教室の実施」が含まれております。御指摘いただいたような具体的な実技や一時停止の徹底といった内容を、この中に含める形で指導を進めていければと考えております。

アウトプット、アウトカムの指標としても、しっかりと評価していけるように整理してまいります。

【部会長（議長）】

ありがとうございます。

【部会長】

私の方からもよろしいでしょうか。

今、子どものお話がありましたが、高齢者の方についても、例えば「シルバー・ドライビング・スクール」というのがありますね。非常に良い取り組みだと思います。令和13年度までの5年間の中で、年に1回実施されとのことですが、交通安全の役員以外の方、一般の高齢者の方々へもっと広げていくことはできないでしょうか。

【事務局】

はい、シルバー・ドライビング・スクールは高齢者向けの講習会で、これまでは年に1回の募集になっております。

【部会長】

高齢者の方々は免許更新の時などには講習を受けますが、それ以外の機会が少ないと思います。自治会や地域のシニアクラブなど、色々なところへ案内を届けていただき、できる限り多くの方に参加してもらえるように広げていただきたいです。

【事務局】

まさに今、市のホームページ等で募集を告知しておりまして、受付を行っているところです。もし身近に参加を御希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけをいただければと思います。

【部会長】

地域の公民館の窓口なども、そうした周知の場所として活用できますよね。公民館の窓口であれば、多くの市民、特に高齢者の方が集まります。各地区自治会の皆様などにも、公民館を通じて周知を行っていただければ、非常に効果的だと思います。

【事務局】

はい、ありがとうございます。

8月15日号の「広報あつぎ」やホームページでも講習会の募集案内を掲載しております。今年の開催日は9月28日の10時からと13時30分からの2回で、約2時間ずつを予定しております。現在、順次申し込みが届いている状況ですが、9月10日の締め切りまで、引き続き、公民館などの施設で広報に努めてまいります。

【部会長（議長）】

ありがとうございます。

他に、何かございませんか。

【部会員】

数字の整合性の点なのですが、12ページの「目標2」の現状値の記載についてです。

12ページの一番下に「現状値：令和7年度 618件」と書いてあります。しかし、お配りいただいた別の「個別目標の設定根拠」の資料を見ますと、令和7年度の事故件数は「590件」となっている箇所があります。この令和7年度の618件というのは、何か別の施策や上位計画の数字をそのまま使っているのでしょうか。

【事務局】

御指摘の部分ですが、こちらは「第11次厚木市総合計画」を策定した際に設定された基準値を元にしております。

総合計画の作成時の目標値（令和7年度を想定した値）が618件として登録されているため、整合性を取るためにこの数値を現状値として記載しております。ただ、実際の最新の実績値とのズレが生じております

ので、表記の方法や年次の位置づけについて、事務局内で再度検討し、整理させていただきます。

【部会員】

わかりました。

総合計画との兼ね合いがあるのは理解できますが、現状値として誤解を招かないよう、注記を入れるか、数字を揃えるなどの整理をお願いします。

【事務局】

はい、そのように対応させていただきます。

【部会長（議長）】

ありがとうございます。事務局で対応をお願いします。

その他、皆様から何かございますか。

特にないようでしたら、ただいまご説明させていただいた内容、および本日いただいたご意見を反映させるということで、この計画素案を承認することとしてよろしいでしょうか。

御賛同いただける方は、拍手をお願いいたします。

（一同、拍手）

【部会長（議長）】

ありがとうございました。以上をもちまして、本件の審議を終了いたします。御協力ありがとうございました。

（今後の予定を事務局が説明し、閉会）

以上